

農業女子PJ

こみや ともこ

小宮 智子

小宮357ファーム 南さつま市

かごしま農業女子プロジェクト

「開発・発展・飛躍」

小宮357ファームのモットーです。



就農のきっかけ

専業農家2代目の夫と結婚し、子育てをしながら看護師を続けていた。看護師を退職後、地場の特産品が地元で販売されていないことに疑問を感じ、市内の直売所を中心に販路拡大したことがきっかけで、農業に関わるようになった。その後、農家民泊体験、観光農園を行いながら加工、農家カフェなど展開。

品目：らっきょう2.3ha、きゅうり7a、米3a、トマト3a、初恋トマト4a
 加工品等：らっきょうピクルス、らっきょうドレッシング、トマトソース、黒らっきょう、らっきょうカレー。（他考案中あり）
 販売先：天文館まちの駅ゆめりあ、ふるさと納税、mojo-cafe357、マルシェなど。
 特徴：自家農園の農産物や地元産を中心に県内産のものを使ったこだわり農家カフェ「mojo-café357」を営む。カフェでは、野菜の食べ方の提案や地域の紹介、メニュー開発も行い、農業を主軸とした活動を展開中。

農業女子プロジェクトに入ったきっかけ

女性農業次世代リーダー育成塾に参加したことがきっかけ。
 育成塾を通じて農業女子プロジェクトについて知った。
 農業を通じて地域を盛り上げたいと考えたため。

農業女子プロジェクトに入ってよかったこと

県内の農業女子と活動する中で、たくさんの仲間と出会い新たな繋がりが広がった。色々な刺激を受けながら少しずつチームが成長するのが嬉しい。
 個人ではできないことも、身近に頼れる仲間がいることで、色々な可能性を持つ農業を盛り上げていき、地域農業の活性化に取り組める。



らっきょうを使ったピクルス

目標

女性としての役割を大切にしつつ、農業に従事する場をつくり、農業の重要性や楽しさ、やりがい、様々な可能性を伝え農業女子を増やしたい。



農家カフェでのメニュー「トマトカレー」